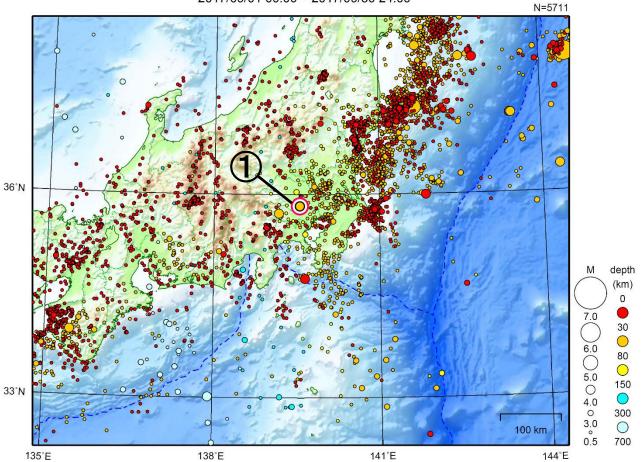
関東・中部地方

2017/09/01 00:00 ~ 2017/09/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 9月14日に埼玉県南部でM4.5の地震(最大震度3)が発生した。

(上図範囲外)

9月8日に小笠原諸島西方沖でM6.1の地震(最大震度3)が発生した。

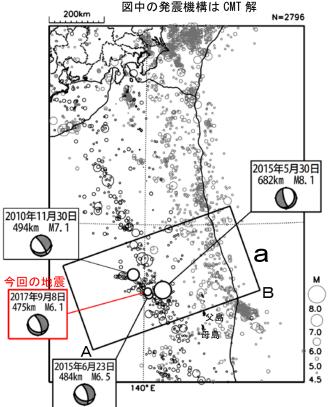
(上記期間外)

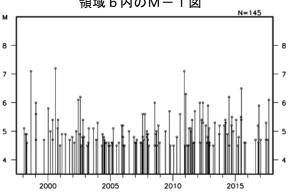
10月1日に茨城県北部でM4.9の地震(最大震度3)が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

9月8日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2017年9月30日、 深さO~700km、M≧4.5) 100kmより深い地震を濃く表示



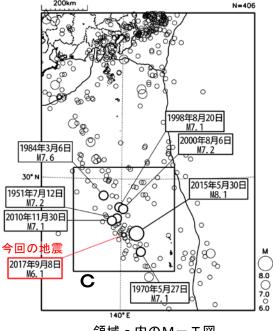


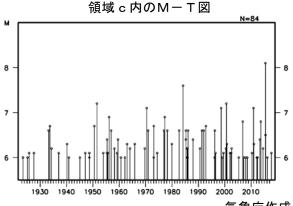
2017 年 9 月 8 日 02 時 26 分に小笠原諸島西 方沖の深さ 475km で M6.1 の地震(最大震度3) が発生した。この地震により、東京都小笠原村 母島で震度3を観測したほか、関東地方及び宮 城県で震度1を観測した。この地震は、太平洋 プレート内部で発生した。この地震の発震機構 (CMT 解)は、太平洋プレートが沈み込む方向 に圧力軸を持つ型である。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地 震の震源付近(領域 b) では、M6.0 以上の地 震が時々発生している。また、今回の地震の震 源から約 200km 深いところでは、2015 年 5 月 30 日に M8.1 の地震(最大震度 5 強)が発生し、 東京都で負傷者 3 人、埼玉県で負傷者 3 人、神 奈川県で負傷者 2 人等の被害が生じた(総務省 消防庁による)。

1923 年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域 c) では、M7.0 以上の地震が時々発生している。1984 年3月6日にはM7.6 の地震が発生し、死者1人、負傷者1人等の被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図 (1923年1月1日~2017年9月30日、 深さ0~700km、M≧6.0)





気象庁作成

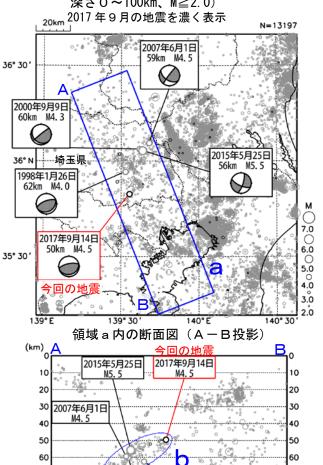
9月14日 埼玉県南部の地震

70 80

90

1998年1月26日

震央分布図 (1997年10月1日~2017年9月30日、 深さ0~100km、M≧2.0)

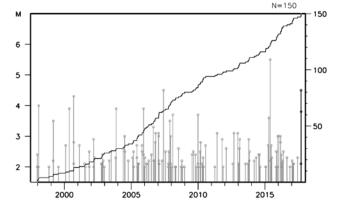


2017年9月14日09時27分に埼玉県南部の深さ50kmでM4.5の地震(最大震度3)が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4程度の地震が時々発生している。2015年5月25日にはM5.5の地震(最大震度5弱)が発生し、重傷1人、軽傷2人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923 年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域 c)では、M6.0 以上の地震が4回発生している。1931年9月21日に地殻内で発生した M6.9 の地震(西埼玉地震)では、死者16人、家屋全壊207棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図 (1923年1月1日~2017年9月30日、 27 100km M>5.0)

2000年9月9日

70

80

90

100

